

「くらしをよくしたい」 「政治を変えたい」

この願いにこたえる取手・利根の議席を

日本共産党
県議予定候補

高木あきら

茨城県議会は、8割が自民党・自民党系の議員で、民主党も公明党も加わる「オール与党」です。取手市選挙区(取手・利根)の定数は3。住民の願いにこたえる日本共産党の議席が必要ではないでしょうか。



ここから
着手

全国8位の 財政力を

くらし、福祉 まちづくりに使おう

茨城の財政力は全国8位で、予算規模は1兆円をこえています。高知県などでは、くらしに視点をあつめた税金の使い方をすすめています。福祉の向上こそ地方政治の原点。今こそ、茨城の財政力を、くらし、福祉、まちづくりに使おうとします。

	茨城県	高知県
財政力	8位	46位
民生費	46位	1位
児童福祉費	44位	2位
小中学校教育費	40位	2位

こっちに使うのは
もうやめましょう

くらし

子育て

地域経済・まちづくり

国保税1世帯1万円引き下げ 高すぎる水道料金の値下げ

国保税が高すぎて払えないために、県の5世帯に1世帯が滞納。関東一高い水道料金については、県も「見直しを検討する」と回答。

中学校卒業までの医療費無料化 取手・利根地域に養護学校を

群馬県では、すでに中学卒業まで医療費は無料です。利根町では、町独自に中学卒業まで2013年から無料化する予定です。

若者に安定した雇用の確保 住宅リフォーム助成制度 取手競輪場の転用・有効活用

- 商業・農業予算を大幅に拡大し、中小業者、農家のくらしと営業をささえます。地元業者にたのめば、住宅リフォームする市民に助成する制度。地元業者の仕事を増やし、経済への波及効果は抜群で、街の活性化につながります。県にも、市・町にもつくらせます。
- 財政的なメリットもなく、一等地を独占している取手競輪場。市民の要望にそって、まちづくりに活用するときです。

■栄橋(利根町)の渋滞解消 ■バリアフリーの推進

自民・民主など「オール与党」がすすめてきた

ムダな大型公共事業を続けても、くらし・経済はよくなりません

◆土地開発の破綻

「企業を誘致すれば県が発展する」…こんな「開発神話」が崩れ、住宅・工業団地の売れ残りは、東京ドーム340個分も。借金の返済に、この先20年、毎年税金を100億円以上つぎ込むようになっています。

◆茨城空港への税金投入

県負担は当初の3倍以上の251億円に。

「これ以上の税金投入はやめてほしい」との声がひろがっています。

◆霞ヶ浦導水事業851億円、 八ツ場ダム268億円(県負担)

過大な人口想定が狂い水が余っています。「水源開発」「治水」など、当初の建設理由は、ことごとく崩れています。

無謀な土地開発

朝日新聞も「日本共産党県議が懸念したとおり」と指摘

「県議会のチェックも不十分だった。公社の決算は年度ごとに議会へ報告される」「国松義輝元理事長は『有力県議』から口利きがあったことを認めている」と報道しています。(朝日新聞9月20日付)

明るい取手・利根

2010年11月 号外 日本共産党の見解をご紹介します。募金にご協力ください。

発行：日本共産党取手市委員会 〒302-0011 取手市井野3-19-6 TEL72-7816 FAX 72-7817

取手市委員会 検索



くらし・営業を守る議席

高木あきら



取手・利根の声を届ける日本共産党県議を

日本共産党の塚越恵子元県議がいたときは、取手競輪場の問題、少人数学級、介護保険や県道の改善などをねばりづよく議会でもとりあげました。8年前に議席を失ってから「県議会は何をしているのかわからない」の声



高木あきらが加わった4議席で発言力は大幅アップ

